

■温室効果ガス削減の目標

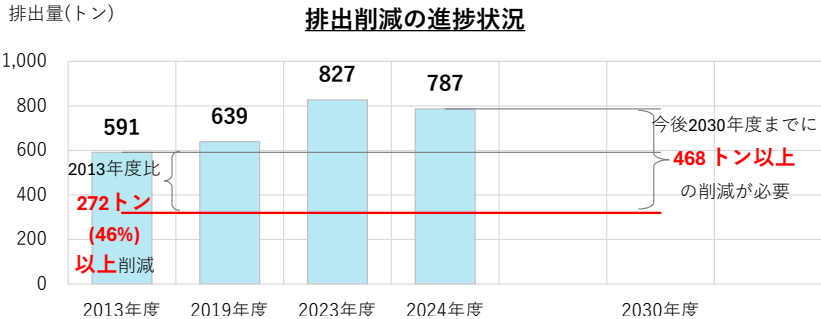
	削減目標（政府目標値）
2030年度	2013年度比 46%（272トン）以上
2050年度	カーボンニュートラル

■温室効果ガス排出量の推移

八尾空港の温室効果ガス排出量は、2023年度比40トン減少の787トンである。
2030年度の削減目標（2013年度比46%以上の削減）の達成には、今後468トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	512	547	737	705
空港車両	79	93	90	82
計	591	639	827	787

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数…2019年度：0.334、2023年度：0.434、2024年度：0.419
空港全体の商用電力使用量(kWh) …2019年度：155.6万、2023年度：167.0万、2024年度：164.4万

■2020年度～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

八尾空港では、2020～2024年度にかけて、商用電力の使用量の増加や主に契約されている電力会社の排出係数の上昇（対2019年度）を主な背景として、温室効果ガス排出量が増加傾向にある。この間、空港の利用（航空機の運航回数）はコロナの前水準に留まっている。

■2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	➢ 建築施設照明のLED化や省エネルギー運用、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用の取組が行われた。 ➢ 航空灯火のLED化の取組が行われた。
空港車両に係る取組	➢ 電動車の導入が行われた。
再エネ導入促進に係る取組	再エネ由来の非化石証書を活用した電力を導入した。
その他の取組	（当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし）